

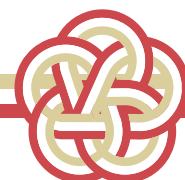


【理念】昨日を反省し 今日を考え 明日に備える

【基本方針】

1. 私達は、患者様の人権と意思を尊重し納得と同意に基づく患者様本位の医療を心がけます
2. 私達は、地域住民の皆様健康維持増進に寄与し、安全で信頼を得る医療を実行します
3. 私達は、日々研鑽し働きがいのある職場をつくり良質で高度の医療を目指し努力します
4. 私達は、当院における診療機能を積極的に広報し、地域の医療機関、高齢者・福祉施設との連携を推進致します
5. 私達は、院内情報を共有し、健全で安定した運営を 継続するため努力します

新年のごあいさつ 院長 駒井 太一

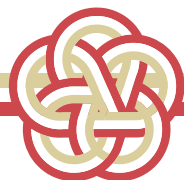


新年あけましておめでとうございます。

そして本年も皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

昨年を振り返ってみると、多くの問題が次から次へと現れた一年であったと思います。その問題と向き合うために、職員が一丸となって対峙した一年であったと思います。もちろん病院だけが特別なのではなく、他のあらゆる分野が、同様に多くの問題と対峙していることと思います。目の前の問題を解決することは最も大切であります。しかし、その結果大切なものが抜け落ちてしまわないよう、令和五年では気をつけられる一年になるよう、気を引き締めながら歩んでいきたいと思っております。東邦病院が、医療を通じて、安心して活気のある地域社会を維持することに微力ながら貢献でき、皆様から信頼される病院であるように職員一丸となって努めて参りたいと思っております。

本年も宜しくお願い申し上げます。



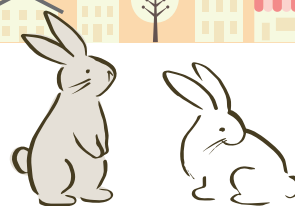
Topic

- ・新年のごあいさつ
- ・地域包括ケア病棟のご案内
- ・訪問看護ステーションの開設





新年のごあいさつ



副院長 植木 嘉衛

新年あけましておめでとうございます。コロナ感染症対策を行いながらの診療が4年となりました。ワクチン接種も進み重症化のリスクは抑えられている状況とはなっていますが、油断せずに診療を継続していく所存です。腎疾患、透析医療の分野でも患者さんの高齢化、治療の専門化が進んでいます。複数の合併症を抱えた患者さんが多く、それぞれに適切に対応しながら診療が行えるよう努めていきます。



異次元の人口減少、並びに高齢化への対策を行いながら、地域の皆様や、医療機関の皆様との連携を大切にしていきたいと考えています。今年もよろしく申し上げます。



副院長 細沼 賢一

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

コロナへの対応に追われて早3年になり、まだまだ試行錯誤の部分も多いですが、少しずつ以前の診療体制に戻ってきました。

内視鏡診療一つをとっても、毎回N-95マスクやフェイスシールド、ガウンを着用し、1件終了毎に診察台周囲を消毒、そして大腸内視鏡の前には患者さんにコロナ検査を受けていただいたりと、コロナ前に比べるとかなり手間が多くなっていますが、それらの手順にも最近ではだいぶ慣れてきて(N-95マスクだけはなかなか慣れませんが)、昨年は内視鏡件数をコロナ前と変わらないくらいまで戻すことができました。

今後もコロナ関係に頭を悩ませる日々は続くと思いますが、地域の皆様のご協力のもと、診療体制を少しでも充実させていきたいと思っております。

末筆ながら皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。



地域包括ケア病棟のご案内

地域包括ケア病棟での在宅復帰支援について、サブアキュート(レスパイト入院)についてご案内します。

・リハビリ

患者担当制を敷きながらチームで診ることで、多角的な視点にて一人一人に応じたリハビリを1日平均3単位(2022年9～11月実績)行い、早期の在宅復帰ができるように365日リハビリが行える体制を整えています。



・医療相談員

訪問看護ステーション、ケアマネージャー等との連携により在宅・介護施設・サ高住等の後方支援に力をいれています。院内では医師や退院支援看護師等、多職種と連携し在宅復帰率79.3%(2022年6～11月実績)となっております。



・訪問看護

当院の医師、病棟看護師、医療相談員等、多職種と連携し、在宅復帰後に主治医、ケアマネージャーと協力して、安心した日々の生活を送れるように、入院時から退院後も寄り添って支援させていただいております。



サブアキュート(レスパイト入院)

当院では、普段在宅で介護されている患者さんのご家族が休息のために利用したり、冠婚葬祭や家族の体調不良などで急な入院が必要な場合、ショートステイが利用できない場合、時には「あと1週間入院できれば…」という思いに、まずは相談できる病院として、在宅介護や医療機関等の隙間を埋めるレスパイト入院を行っております。

2023年1月4日より

訪問看護ステーショントーホーを開設しました

管理者よりごあいさつ

昨年11月16日より管理者を引き継ぎました看護師の関佳子です。日頃より地域の皆様、関係各機関の皆様には大変お世話になり心から感謝申し上げます。年明けから東邦病院内に移動となり、名称も「訪問看護ステーショントーホー」と変わりスタッフ一同看護師とリハビリテーションの質を高め、利用者様に提供していけるよう日々精進していきたいと思っています。少子高齢化、在宅医療が推進されている昨今、地域医療の充実はより一層求められています。様々な疾患を持つ方々の在宅での生活は家族だけでは困難を極めます。私達をご利用様、ご家族の“自宅で安心できる療養生活を送りたい”“慣れ親しんだ環境で最期を迎えたい”と言った想いを少しでも支えられるよう一人一人に寄り添いサポートさせて頂いております。地域医療に携わる全ての方々と連携を図りながら、安全で安心で満足のいく自宅での生活を続けていけるように、お手伝いをさせて頂きたいと考えています。今後ともよろしく願いいたします。



管理者
看護師 関佳子

連携の強み

住み慣れた地域で自分らしい生活を続けることができるように地域内で助け合う体制を提供出来るように、地域の医療・介護・行政機関との連携を緊密に行えるネットワークの一部として、当院多職種のスタッフと、いざという場合にお受入れできるケアミックス病院でのバックアップ体制を整えております。

まずはお気軽にご相談ください。

受付時間 8:45～17:15

訪問看護直通

☎ 0277-76-3586